

連載

目指せ！『ダイバーシティ』

男女共同参画委員会から

男女共同参画委員会では、「人材多様性の促進」と「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進」を目指し、1) 実際に各企業・大学・研究所で行われている男女共同参画の取り組みを現場の声と共に紹介する「うちの取組」のWeb掲載、2) 進路決定支援を目的とした「学生のためのキャリアデザインセミナー」、3) 女性会員の情報交換の場を提供する「女性技術者ネットワーク」、など様々な活動を行っております。また、これらの活動内容を広く皆様に知って頂くことでより一層の推進を目指したいとの思いから、化工誌に活動内容の紹介をさせて頂いています。今月号は11月に東京で行われた「学生のためのキャリアデザインセミナー」報告を掲載します。バックナンバーは、ホームページよりご覧いただけます。

2014年度 男女共同参画委員会企画 東京での「学生のためのキャリアデザインセミナー」報告

「学生のためのキャリアデザインセミナー」は、化学工学専攻の学生の進路決定や就職後のキャリア形成の参考となるように企画したセミナーです。企業人事の方から「男女共同参画を目指した取組み」や「科学技術系社員に期待すること」などを、また、現場で活躍されている先輩から「私が選んだ職種と職場」や「実際に取り組まれている仕事とやりがい」などをお話しいただいています。今年度は、1回目を9月に秋季大会の会場(九州大学)で開催し、2回目を11月14日(金)に東京の化学工学会本部で開催しました。今年度から就職活動の期間が大幅に変更になったこともあり、少しでも情報を集めたいと群馬からも参加いただくなど、意欲の高い学生が集まりました。

今回のセミナーでは、企業人事の方からとして、旭化成(株)人財労務部採用グループ 大久保敦史様、および住友ベークライト(株)人材開発部 植田毅様よりご講演をしていただきました。続いて、先輩からのお話として、千代田

化工建設(株)ガス・LNGプロセス設計ユニット 羽倉莉恵子様、および三井化学(株)合成化学品研究所 木村桜子様よりご講演いただきました。

はじめに、旭化成(株)大久保様より、技術畑出身のご自身の実体験をもとに、化学工学系出身者の仕事内容や学生に期待することに関して、分かりやすくお話しいただきました。旭化成は「超多角化経営」が特徴であり、化学工学の活躍の場は多く、製造プロセス開発や研究開発、プラントエンジニアリングでの業務内容や仕事のやりがいについて紹介いただきました。新入社員に望むこととして「次の新事業となるような“強い”技術を開発して欲しい」と述べられ、そのために学生時代から物事にきちんと取組み、どんなことにも対応できる体力をつけて下さいとのメッセージをいただきました。

続いて、住友ベークライト(株)植田様からは、まずプラスチック製品の総合メーカーである住友ベークライトにお



旭化成(株) 大久保様



住友ベークライト(株) 植田様



千代田化工建設(株) 羽倉様



三井化学(株) 木村様

ける技術系の仕事について事例を挙げながら紹介いただきました。基礎研究、応用研究、設計／生産技術、製造品質保証・環境管理の4つの部署で働く若手社員のそれぞれの業務内容ややりがいについて、現場の声をお話いただきました。また、化学工学系の先輩社員からのアドバイスとして、①化学工学に関しては頼られても応えられるように(化学工学技士(基礎)の取得推奨)、②得意といえる分野を持っていると、会社での価値が上がる、③原理・原則を追及する習慣を、とのコメントも紹介いただきました。

次に、先輩からのご講演として、千代田化工建設(株)羽倉様から、ご自身のこれまでの業務内容とその取り組み方、育児との両立に関してご紹介いただきました。千代田化工建設は、プラント建設および総合エンジニアリングを事業としており、女性は1割くらいで海外との仕事が多い点をご説明いただいた後、ご自身の業務であるプラント等の設計についてご紹介いただきました。育休から復職後も同じ部署に戻られて、近くのご両親の力を借りながらフルタイムで仕事を続けておられ、男性のように海外出張はできないなど仕事の範囲は限られるけれども、できる業務の中でやりがいを持って働いているとお話しされました。最後に、おもしろい仕事はやってみないと分からないので、「なんとなく」のイメージに囚われずに自分がやってみようことを見極めてトライして下さいとのメッセージをいただきました。

最後に、三井化学(株)木村様から先輩からのご講演として、会社での仕事内容についてご自分の人生経験と合わせてご紹介いただきました。木村様は高校卒業後、イギリスの大学に進学し、そこでPhDを取得された後、日本に帰国されて、いくつかの仕事を経験後に三井化学に就職されたとのことですが、予想外のこととして会社が主催する国際シンポジウムや国際プロジェクトでの仕事もあり、会社では必ずしもやりたい仕事ができるわけではないが、たくさんの人との関わる中でやりがいがあったり、自分の知

らない自分を見つけることができたのご経験をお話しいただきました。仕事やキャリアは自分で選べる時もあるけれど、選べない時もあるので、どんな仕事があっても、それをチャンスとして活かせるように日頃から専門知識を増やしたりなどの“準備”が大切とのアドバイスをいただきました。

講演会に続いて、交流会を行いました。参加者からは、「企業人事の方と直接お話ができて、大変有意義であった」「会社での具体的な業務内容についての話を伺うことができ、働いてからのイメージが持てて良かった」などの感想をいただきました。

今後も、化学工学会は化学工学系の学生支援のため、企業の人事や先輩から、実際に仕事をしていく上でためになる情報や話題を提供していただくセミナーを開催予定ですので、皆様からのご要望をぜひお寄せください。また、3月の年会2日目には、優れた先輩女性研究者・技術者の研究発表に触れる機会として「女性技術者フォーラム」を開催致します。第2回となる今回はより幅広い方々にとって興味深いシンポジウムとなるよう企画しました。午前の部ではJAXA(宇宙航空研究開発機構)の塩満典子様、料理栄養研究家の佐藤秀美様、芝浦工業大学の國井秀子先生を招待講演者として招き多様な世界で活躍する女性のお話を伺います。お昼の時間はランチオンを兼ねて化学工学分野で働く女性技術者や研究者を対象とした「化学工学会女性賞」の受賞者である(株)カネカの吉見知穂様、東京工業大学の野村淳子先生の受賞記念講演も合わせて開催致します。午後には、生命工学・バイオ工学最前線の女性研究者である九州大学の三浦佳子先生、若林里衣先生、東京工業大学の大河内美奈先生、崇城大学の松本陽子先生、東京農工大学の吉野知子先生のご講演を予定しています。多数のご来場をお待ちしております。